

校長室の窓から 6

070307 円形広場にタヌキ？

給食準備中に2階3年生の廊下で子供たちがガヤガヤ。どうやら、窓の下の円形広場にタヌキがいたそうなのです。子供たちは窓からのぞきこんで大騒ぎ。

私の目では見ることはできませんでしたが、教頭先生と教務主任が確認しに下りていくと、隣の杉の子保育園向かいの民家に入り込んでじっとしているのが目撃されました。



一部の毛が抜けて、あまり栄養状態のよくない様子だったそうです。

そもそも、タヌキは冬眠するのかどうか、気になったので調べてみると、タヌキは冬眠はせず、かわりに「冬ごもり」というのをするそうです。秋にいっぱいえさを食べて体重を1.5倍に増やし、冬は巣にこもって活動をひかえるそうです。中太閤山小学校に現れたタヌキは、春を感じてエサをさがしに出たのでしょうか。

太閤山ランドや薬勝寺池という豊かな自然に囲まれているこの地域。子供たちによると、タヌキに遭遇するのはそんなに珍しいことではないとのこと。

久しぶりの陽気に誘われて、タヌキだけでなく、たくさん子供たちも校庭に出て外遊びに興じていました。風はまだ冷たいけれど、やはり、子供は風の子ですね。



愛と信の仲よしこよし

中太閤山小学校長 堀かおり